

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社サニックス

山形市にある株式会社サニックスの藤井優香さん取材しました！

藤井さんは、東北福祉大学総合マネジメント学部を卒業後、2017年に入社しました。現在は、営業部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在どんなお仕事をしているのか教えてください。

藤井さん（以下藤井）：普段の業務内容は電話対応や来客対応、リースの請求業務、自動車保険業務を主に行っています。

保険業務に関しては、個人のお客さまも法人のお客さまもいらっしゃいます。法人のお客さまだと、例えば200台あれば200台でまとめて一括で契約するという形です。



——一般の乗用車と、働く車の保険では違う点がありますか？



藤井：金額はやはり乗用車と比べて高くなりますし、トラック関係が多くなると特約も変わります。お客さまの業務内容や、「こういう保障がほしい」という希望に合わせて工夫しています。

——自動車保険はとても大事だと思いますが、プレッシャーはありますか？

藤井：そうですね。保険の内容を間違えてしまうと、事故があった時に保障が下りなくなってしまうこともあるので注意しています。しっかりお客さまと会話しながら、保障内容を見直したりしています。

——保険業務を担当してほしいと言われたときはどう思いましたか？

藤井：事務系という形で入社したんですが、急に保険業務をやってほしいと言われたときは、車のことも何もわからない状態でしたのですごく不安がありました。ですが、上司がしっかりサポートしてくれました。あとは、そもそも試験を受けて合格しないと業務ができないので、それに向けて毎日勉強するのは大変でした。

経営企画部 大江さん（以下大江）：今は会社で「保険といえば藤井さん」「何かあれば藤井さん」という感じですので頼られている存在ですから、それはもうすごい成長が感じられますね。



——試験を受ける際に、会社のサポートはあるんですか？

藤井：保険業務をするのであれば、まず基本的なものとして損害保険募集人資格があります。最初の受験料は会社で負担してくれますが、不合格の場合、2回目以降は自己負担という形になります。会社からサポートしてもらえるので、取りたい資格があれば会社をお願いすることが可能です。

大江：あとは業務のうえで大事になってくるのは、資格というよりは一人ひとりのお客様とのコミュニケーションですね。保険業務に関しては正しく相手に伝えるコミュニケーションスキルが必要です。

藤井：そうですね。間違えると大きな問題なので、「しっかりとした言葉でわかりやすく」を心がけています。保険は専門用語が多くて、お客様にはわからないことも多いので、自分の言葉で具体的に伝えるのはすごく大事だと思います。

——どういうところでこの仕事をやっていて良かったなと感じますか？

藤井：最初はよくわからずに業務をやっていましたが、だんだん慣れてくるとお客様に、「成長したね」とか「ありがとう」とか結構言われるんですよ。自分が成長できたのかなと感じるときがやりがいです。

——逆に、何か失敗したことはありますか？

藤井：失敗したこと・・・ありますね（汗）。お客様への保険更新のご案内が遅れてしまったり。保険料をいただいて入金するときの振込手数料を間違っって振り込んでしまったり。細かい失敗はたくさんあります。

——どうやってそれは乗り越えたんですか？

藤井：そうですね。まずはしっかりと上司に報告をして、お客様にお詫びが必要であれば心からお詫びをしました。そして同じミスがないように、自分でしっかり管理するようになりました。

(2) 職場編

——入社を決めた理由を教えてください。

藤井：大学は宮城だったので、宮城で就職しようかなと思っていましたが、視野を広げて見てみようと思い、山形の合同企業説明会に参加したのがきっかけです。その際にサニックスの説明会に社長もいたんです。企業説明会に社長がいるというのはなかなかなかったので、良い機会だから説明を聞いてみようとなりました。

説明会でのアットホームな雰囲気が自分に合う感じがしましたが、実際に行かないとわからないと思って会社見学に参加しました。その際にも社員の方がいきいきと働いていて、事務所の中もアットホームな雰囲気だったので、自分もこの企業で成長していきたいと強く思いました。

——実際に入社してみてどうでしたか？

藤井：最初は不安があったんですが、社員一人ひとりの距離が近いので何でも相談しやすいですし、上司もしっかりサポートしてくださるので、楽しく仕事できています。

大江：上司のサポートは大事ですか？

藤井：そうですね。入社した時は一人で何でもしなきゃいけないのかなと思っていましたが、上司が「もっとこうした方が良い」とかアドバイスをくれると、その不安がちょっと和らいで頑張ろうっていう気持ちになれますね。

——中小規模の企業で働く良さはどういうところにあると思いますか？

藤井：サニックスのように、ワンフロアに社長や専務がいるという空間は大手にはあまりないと思いますので、中小企業で一人ひとりの社員の距離が近いところはいいと思います。

大江：逆に私たちの年代からすると離れたほうがいくなって（笑）。隣にずっと社長がいて仕事するのもちょっとハードルが高い（笑）。

藤井：そうなんです（笑）。でもちゃんと見てくれているんだなという安心感がありますね。



——会社の中で、業務以外でもみんなで楽しくワイワイすることはあるんですか？

藤井：バーベキューや新年会でみんなが集まったり、プライベートだと仕事終わりに仲の良い同期と飲みに行ったりボウリングに行ったりとか、結構ありましたね。今はコロナ対策でなくなってしまいましたが。社内でもプライベートでも結構仲良くしていますね。

大江：会社を選ぶときはそういうところを見るのも大事だと思います。仕事内容も大事ですが、会社の価値観も大事ですね。



サニックスはプライベートまでがっつき関わります（笑）。でもそれは大事だと考えるからです。例えば、サニックスは健康経営を推進しています。「健康なんか個人の勝手でしょ」という考え方もあると思いますが、そこに関与します。社員が健康であってほしいからです。価値観が合わなければ、入社してから大変ですよ。そういうところも会社を選ぶ基準としてはすごく大切だと思います。

——休暇の取り方とか、そういう意味での働きやすさは感じますか？

藤井：休暇は取りやすいほうだと思います。最初は有給休暇を取っていいのかなとか迷ったこともありましたが、最近はみんなが結構休むようになってきているので、届けを出しやすいですね（笑）。

大江：自分が藤井さんの年齢くらいのときは、年間で有給休暇を利用できるのは1日2日しかないことも普通でしたが、今はかなり変わりましたね。若い人たちが働きやすくなったのかなと思います。

——育児休業をとっている方もいるんですか？

大江：今、育休をとっている人がいて、2回目の取得です。中小企業で、少ない人数でやっているのでも、大変といえば結構大変ですが、やはりみんなで協力して少しずつ仕事を分担したり、一時期子育てのために退職した方にカムバックしていただいて活躍してもらっています。



結婚して子どもができて、というところをしっかりとサポートするのは会社の基本的な方針ですので、心配しなくても大丈夫です。会社としては復帰してもらった方がいいんですよ。社員として大きく成長したのに、子どもが生まれたからやめますといわれるのは辛いんです。しっかり休んで、会社に復帰して一生懸命働いてもらえれば、会社としてはありがたいことです。

(3) ある日の過ごし方編

●7:45 【出社】

お客様をお迎えする準備として、接客スペースの清掃や飲み物の補充確認をします。その後、社員全員でラジオ体操をします。

●9:00 【業務開始】

入庫したお車の受付業務や電話対応、来客対応、リースの請求業務を行います。



●12:00 【お昼休憩】

●13:00 【保険業務】

お客様の自宅や会社に訪問し、保険の更新手続きをします。おすすめのプランや変更点などお客様の立場になって提案するようにしています。

●16:00 【明日の業務準備】

明日の状況を確認し、書類の片付けなどをします。



●17:00 【退勤】

(4) むらやまでの暮らし編

——休日にする趣味はあるんですか？

藤井：ありますね。土日が休みなので友達と旅行したり、あとは仕事終わりにも週2回バドミントンしたり。プライベートは結構充実していると思います。



大江：充実してますね！プライベートだけ充実させる、仕事だけ充実させるというのはすごく難しいとっていて、「仕事を楽しくなければ、人生が楽しくない、人生を楽しむのであれば、仕事もしっかり楽しんで、仕事をしっかり楽しめばプライベートも楽しくなる」というのが社長の基本的な考え方です。バランスという意味で、藤井さんは見本になる社員かもしれないですね（笑）。

——よく遊びに行く場所はどこですか？

藤井：最近だとカフェ巡りが結構好きですね。山形にもカフェが増えていきますので。江俣にある「花カフェ ブルーミーズ」がおすすめです。お花のガラス張りで結構人気のお店です。



——宮城から山形に戻ってきて、山形の暮らしやすさを感じることはありますか？



藤井：自然に囲まれてゆっくり暮らせるところがすごくいいなと思います。家族でゆっくり過ごせる時間があったり、地元の友達と遊んだりすると山形の良さがとてもわかります。

(5) まとめ編

——今後の目標について教えてください。

藤井：入社して5年目になりますが、まだまだ自分でできていないところが多いです。リースの請求業務などもやるので、そういった保険以外の仕事ももう少し自分でやっていたらと思います。目標としては、社員やお客さんに信頼され、頼られる存在になることです。



——長く働くと部署が替わることもあるんですか？

大江：内勤の場合だと事務系、管理職系、営業職系、業務系と分かれています。その中で例えば営業系から業務系に行ったり、業務系から営業系に行ったりすることはあります。仕事がきちっと分かれているわけではなく、みんなが何でもしなければいけないところが中小企業にはあるかもしれません。みんなでやりましょうという雰囲気がありますね。

——現在、就職活動を行っている人にメッセージをお願いします。

藤井：最初は宮城で就職する気持ちが強くて、山形を全然視野に入れていなかったのが、絞りすぎていたかなという反省があります。大学1、2年生の頃からインターンシップなどを経験して、視野を広げて就職活動すれば自分に合った企業が見つかると思いますし、大手企業だけではなくて中小企業にも魅力がたくさんあると思います。

——働きやすい職場にするために工夫していることはありますか？

藤井：サニックスには社内報があります。いつも自宅に社内報が届くんです。家族も見て、「いい職場だね、楽しそうだよ」と言ってくれます。お客様からも言われたりしますので、モチベーションがあがります。

大江：この社内報は誰のために作ったかという、家族のためです。だから社員に直接渡すのではなくて、家に送るんですよ。自分の娘・息子・旦那さん・奥さんが働いている会社はこうなんだよと知ってもらうのが社内報の一番大きな目的です。

社員のご家族、特に親御さんは、自分の子どもがどんな会社で、どんな人達と、どんな表情で働いているかを知ってもらうことで、安心して仕事に送り出してくれると思います。これは会社にとって大切な広報活動になるので社内報は何年も前から続けています。



社員を雇うのは会社にとって、長い目で見ると大きな投資になります。そして雇った責任があるので、会社を存続させる責任があります。そう考えたときに、社内報、健康経営、ダイバーシティ、新規事業といった取組につながります。これから百年間ずっと利益をあげて、藤井さんが定年になるまで会社を存続させなければいけないという責任があるので、いろいろ挑戦しています。

———ありがとうございました！

藤井さんは、柔らかな雰囲気印象的でした。業務にあたって信頼を大切に、そのためにコミュニケーションを大切にしているのが、すごく伝わってきました。

また、会社を存続させることが大切と授業でも学びますが、実際にどうやっているのかがわからなかったのが、今回教えていただいて理解できました。ただ、言葉にするのは簡単ですが、それを実現するのは大変なことだとも感じました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 久山拓真、長沼莉保、藤井遥香】

株式会社サニックス

- ★健康経営優良法人 2017～2020、健康経営優良法人 2021 ブライト 500、新・ダイバーシティ企業 100 選、やまがた子育て・介護応援いきいき企業ダイヤモンド、きらやか産業賞、東北DX大賞審査員特別賞
 - ・所在地 山形市大字十文字 812 番地
 - ・設立 昭和 45 年 7 月
 - ・従業員数 76 名（男性 70 名、女性 6 名）
 - ・URL <https://www.sanics.co.jp>
-